

令和5年度「教職員視察ウィーク」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は美術館事業へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。ご挨拶です。

さて、今年度も「教職員視察ウィーク」を下記のとおり開催いたします。**市内学校園職員**を対象に、各展覧会ごとに定める一定期間を、**観覧無料の視察期間**とするものです。教育に携わるみなさまに、美術館や展覧会に対する理解を深める機会とするとともに、普段の鑑賞学習や、校外学習での美術館活用の参考にしていただき、モニターアンケートにご協力いただくことで、美術館としても学校現場の声をお寄せいただきたく、積極的なご利用をお待ちしています。

なお、学校団体引率に伴う**下見・引率**の場合は、時期を問わず**観覧料を免除する制度**もごございます（所定の**減免申請書**をご提出ください）。そのほか利用に伴うご相談、ご要望等も随時受け付けておりますので、ご連絡いただけましたら幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

【視察ウィーク対象展および期間】

※それぞれの会期直前にも文書にてご案内いたします

① 4月9日（日）～16日（日）

美術館に行こう！

ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方
+コレクション展Ⅰ

☞ミッフィー親子と一緒に、新潟市美術館の名品を楽しむ展覧会です。生みの親であるディック・ブルーナのデザインワークも展示します。



《miffy 45th》
『うさこちゃんびじゅつかんへいく』
(1997より) © Mercis bv

② 6月18日（日）～25日（日）

とみい もとひろ 富井大裕 みるための時間

+コレクション展Ⅱ



富井大裕 《ball sheet ball (see through)》
2014年 新潟市美術館蔵 撮影：内藤雅子

☞新潟市出身、現代美術のフィールドで活躍する富井大裕。身近な日用品を用いたポップな造形の中に「彫刻」の体験とは何かを問いかけます。コレクション展でも富井流の鑑賞法を提案します。

③ 7月30日（日）～8月6日（日）

「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄
+コレクション展Ⅲ



牛腸茂雄 《見慣れた街の中で17》
1978～1983年（2004年プリント）
ラムダプリント
プリント監修：三浦和人
新潟市美術館蔵

☞美術評論家の瀧口修造、絵画と写真の分野で活躍した阿部展也、そして写真家の大辻清司、牛腸茂雄の交流と創作を辿りながら、1930～80年代の日本昭和写真史の一片をご紹介します。

④ 11月19日（日）～26日（日）

発掘された珠玉の名品
少女たち一夢と希望・そのはざままで
星野画廊コレクションより
+コレクション展Ⅳ

☞個性派画家の発掘をリードしてきた京都・星野画廊。カリスマ画商が別れ難く手に残してきた優品120点を一挙公開。「少女たち」の美術史・ファッション史・世相史の豊かな変転をたどります。



岡本神草 《幸の舞妓》1922年頃